



Chiba Kogyo Bank

REPORT 2016

ミニ・ディスクロージャー誌
平成29年3月期 営業の中間ご報告

目次 Contents

ごあいさつ 1
 中期経営計画 3

地域とともに
 「地方創生」推進への取組み 5

お客さまのために
 より便利に、安心してご利用いただくために 9
 さらに快適で機能的な店舗へ 10
 商品・サービスのご案内 11

「親切」の心で
 CSRの取組み
 地域社会・地域経済への貢献 13
 業績のご報告(単体) 15
 財務諸表(単体) 19
 財務諸表(連結) 20
 役員・株式の状況 21

プロフィール Profile

- 名称**
 株式会社千葉興業銀行
 [英文表示] The Chiba Kogyo Bank, Ltd.
- 本店所在地**
 千葉市美浜区幸町二丁目1番2号
- 設立年月日**
 昭和27年1月18日
 (営業開始:昭和27年3月3日)
- 資本金**
 621億2,053万3,949円
- 店舗数**
 73店舗(県内72店舗、都内1店舗)
- 従業員数**
 1,376名

(平成28年9月30日現在)



ちば興銀は、次世代認定マーク、女性活躍推進法認定マークを取得しています。



ごあいさつ

平素より、千葉興業銀行をお引き立て賜り、誠にありがとうございます。

平成28年度中間期の当行の経営内容や業績、CSRの取組み等をミニ・ディスクロージャー誌にまとめました。ご覧いただければ幸いです。

平成28年度におけるわが国経済は、個人消費の本格的な回復には至っていないものの、雇用・所得環境の改善が続き、全体として景気は底堅く推移しました。当行グループが営業の基盤とする千葉県経済につきましても、倒産件数が低い水準で抑えられ、雇用環境の改善が続くなど、緩やかな回復基調が続いております。

このような経営環境のなか、当行は平成28年4月より新たな中期経営計画「コンサルティング考動プロジェクト2019」をスタートさせ、各種施策に積極的に取組んでまいりました。

地域のお客さまの資金ニーズにお応えし、地元企業の経営課題解決支援に取組み、お取引先企業の経営改善を積極的にサポートした結果、住宅ローンや中小企業向け貸出は順調に増加いたしました。

これもひとえに、お取引先・株主・地域の皆さまからのご愛顧によるものと心から感謝申し上げます。

当行は引続き、3年後の「コンサルティング・バンクの確立」実現に向け、より一段と地域・お客さまのお役にたち、ともに成長していくために、お客さまを第一に考える「コンサルティング考動の実践」をコア戦略として、全行一丸となって取組んでまいります。

今後とも、より一層のご支援を賜りますようお願い申し上げます。

平成28年11月



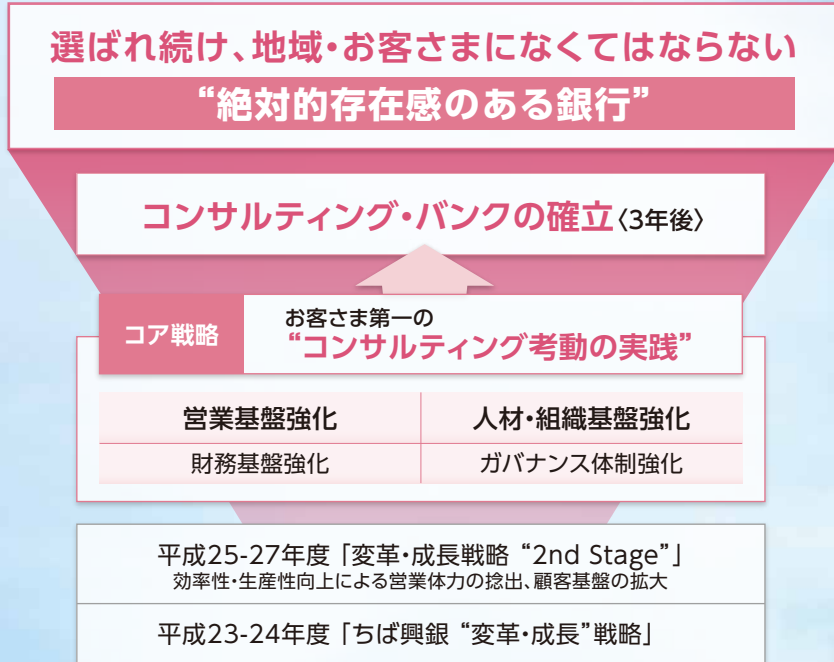
取締役頭取・CEO

青柳 俊一

コンサルティング考動プロジェクト2019

平成28年4月～平成31年3月

中期経営計画の概要



目標とする経営指標(平成31年3月期)

預金 25,600億円	当期純利益 65億円	普通株ROE 5.0%	役員収益比率 30%
貸出金 21,400億円			

普通株ROE…優先株による要因を控除したROE(株主資本利益率)
役員収益比率…コア業務粗利益に対する役員収益等の比率

“コンサルティング考動”とは「パートナーである地域やお客さまの真の課題・問題を突きとめ、解決への答えを、パートナーのために真剣に考え示す行動」です。

「コンサルティング・バンクの確立」実現に向け、当行はお客さまを第一に考える“コンサルティング考動の実践”をコア戦略として数々の取組みを行っております。

人材・組織基盤強化

■組織力(本部体制)の強化

- 「営業本部制」導入
→戦略の展開スピード向上
- コンサルティングのための本部サポート強化
- 地方創生の推進体制強化

■人材育成の強化

- コンサルティング人材の育成
- 実態把握力、与信対応力の強化

■外部連携

- 専門機関との連携強化
- 専門機関への人材派遣

営業基盤強化

■顧客基盤の拡充

- 中核取引先の拡大 ●取引先の間口拡大
- 顧客セグメントに即した提案

■事業性評価に基づく地元企業の成長支援

- 地元中小企業の経営力強化をサポート
- 成長分野(医療・介護、アグリ・フード、観光等)への取組強化
- 新市場創出につながる中小企業支援強化
- 事業性評価取組みの強化

■お客さまニーズに応える店舗戦略

- ブロック営業体制導入
- 成長エリアへの新店舗出店



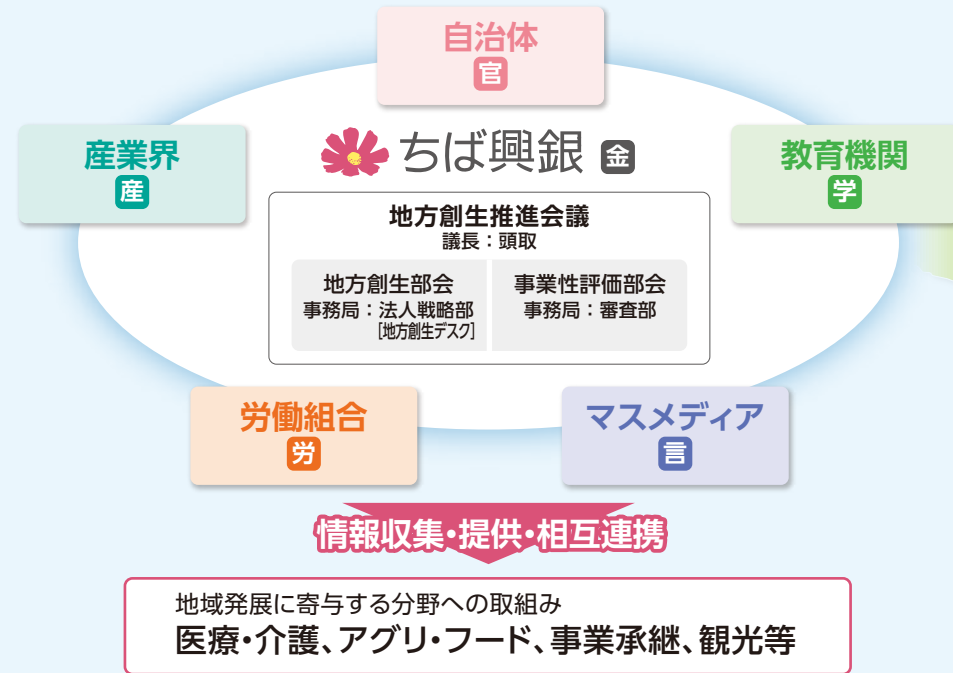
平成28年4月～10月

「ブロック営業」体制を構築	各店舗を地域特性にあわせ、リーディングバンク、リテールバンク等に再構築し、18のブロック営業体制とした	それぞれの地域(ブロック)特性を踏まえて営業店の役割を再構築し、法人・個人各々のお客さまへのニーズ対応力を増強
「営業本部制」を導入	機動的な推進体制構築のため、法人戦略部、個人戦略部、ローン戦略部、支店推進部を設置	営業企画・戦略実行・推進の実効性および本部内の連動性を高め、左記の4部を統括する営業本部を設置
本部サポート強化	コンサルティング企画担当とコンサルタント支援室「ブロック担当」を大幅増員	営業店と本部をつなぎ、一体化を強めることで課題解決となるソリューション機能の充実と多様化を実現
	本部コンサルタント支援室「ブロック担当」を各ブロック内に常駐	営業店におけるコンサルティング考動の推進・支援
「地方創生」推進体制を強化	地方創生推進会議の議長を頭取とし、下部組織として「地方創生部会」「事業性評価部会」を新設	2部会の設置により、スピード感と柔軟性を高め、地方創生推進を拡大、加速化
「コンサルティング部」新設	リーディングバンク(ブロック幹事店)の一部に「コンサルティング部」を設置	これまで以上に地域・お客さまとの関わりを深め、地域特性を踏まえた質の高い金融サービスを提供

「地方創生」推進への取組み

ちば興銀は、「地方創生」の推進に積極的に関与し、千葉県のさらなる発展に寄与してまいります。

昨年度、各自治体が作成した「地方版総合戦略」は、今年度具体的な実行段階へと移行しております。
 “産学官金労言”が各々の知見を生かし、千葉県の持続的な発展に向けて、より連携していく必要があると考えます。
 引続き当行は、地元自治体や教育機関、お取引先企業の皆さまと緊密に連携をとりながら、地方創生・地域活性化に向けた取組みをさらに展開してまいります。



産 × 官 × ちば興銀

事業承継サポート保証「みらい」の実行
【平成28年4月】

千葉県信用保証協会(以下、保証協会)の事業承継サポート保証「みらい」を活用してお取引先企業の事業承継支援を実行
 保証協会の本商品取扱いは、覚書締結金融機関では初

産 × 学 × ちば興銀


「千産千商2016 in 聖徳祭」開催
【平成28年11月】

今年で7回目となる聖徳大学短期大学部との産学連携協定に基づく活動のひとつで、今年は当行お取引先企業のマッシュルームを使用した弁当を開発・販売

官 × ちば興銀

千葉市旅客船ターミナル等複合施設「ケースハーバー」の建築資金を協調融資
【平成28年4月】

「千葉市まち・ひと・しごと創生総合戦略」の施策である「東京湾ツーリズム旅客船運航」の拠点となる施設を金融でサポート



学 × ちば興銀

亀田医療大学と「相互協力連携に関する協定書」を締結
【平成28年9月】

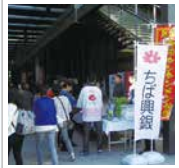
各々が有する情報やノウハウ等を用いて地域社会の発展に貢献



産 × 学 × ちば興銀

「國學院大学ホームカミングデー院友会支部物産展」に協力
【平成28年10月】


いすみ市、勝浦市、鴨川市や内房地域の名産品と小湊鐵道やいすみ鉄道のグッズなどを出展
 観光案内やふるさと納税のパンフレットも配置し、情報を発信



産 × 官 × ちば興銀

県内初の車中泊専用駐車場「RVパーク」整備に協力
【平成28年7月】

南房総市に事業提案と協会を紹介、市は国の地方創生加速化交付金を利用して駐車場を整備
 県内初の「RVパーク」に認定



地域発展・活性化支援に関する相互連携協定の締結(平成27年9月以降)

地元自治体や各種機関と、地域発展・活性化のための連携協定を締結し、地域情報の収集・蓄積と分析、ノウハウ・人材の提供等を行っております。

平成27年	9月	千葉県商工会連合会(県下40の商工会)、 柏市、白井市、千葉県税理士会
	11月	匝瑳市、御宿町
平成28年	3月	君津市*
	4月	市川市
	5月	流山市
	11月	東金市

*君津市とはこれまでの連携協定の範囲を拡大した協定を締結いたしました。

*平成27年8月までに11の市、商工会議所と連携協定を締結しています。

事業承継・M&A 支援

ちば興銀「経営塾」

ちば興銀「経営塾」は地元企業育成支援・後継経営者育成支援の取組みのひとつとして、平成16年9月に設立されました。

幅広い視点で経営を捉えていただくための視察会やセミナーを定期的に行い、海外視察研修なども実施しております。

平成28年10月には第6期生が1年半にわたる活動を終え、来期には第7期生の開講が決定しております。



第6期生修了式 記念講演
千葉ロッテマリーンズ
スペシャルアドバイザー
里崎智也氏



海外視察研修ベトナム
(ハノイ、ホーチミン)



「M&Aシニアエキスパート」県内地銀最多 × 「情報開発大賞」受賞！

【平成28年5月・7月】

「M&Aシニアエキスパート」^(※)認定試験において、営業店で活躍する支店長を中心に10名が合格し、当行在籍の有資格者数が13名となりました。

これは、県内地銀では最多となっております。

当行は、地元企業の事業承継・事業拡大に対する課題解決策のひとつとして「M&Aコンサルティング業務」の強化を掲げており、本部内にはM&A専任者を配置し支援体制の強化を図っております。

こうした取組みにより、平成28年5月には、株式会社日本M&Aセンターより「第四回バンクオブザイヤー表彰式」において、「情報開発大賞」を受賞いたしました。



^(※)「M&Aシニアエキスパート」一般社団法人 金融財政事情研究会が、講習および試験を通じて認定する制度で、「事業承継・M&Aエキスパート」の上級資格となる認定資格です。とりわけ事業承継対策の重要な選択肢のひとつであるM&Aに精通した人材の養成を図ることにより、中小・零細企業の経営の安定・持続的成長、経営者・従業員の生活基盤の安定、ひいては日本経済の持続的発展・成長に資することを目的としています。

「個人信託」取扱いを開始！【平成28年9月】

「個人信託」とは、お客さまの大切な財産をお客さまのお考えどおりに管理・運用を行ったり、お客さまの相続発生後に残されたご家族のために、財産管理を行うことができる信託商品です。

お客さまのニーズに応じたオーダーメイドでの信託機能の活用ができます。

海外進出支援

「平成28年度海外ビジネス戦略推進支援事業」(中小機構)の申請サポートにより、支援先の2案件が採択【平成28年8月】

「海外展開・事業承継等にかかる業務連携・協力に関する覚書」の締結に基づく取組みの一環として、独立行政法人 中小企業基盤整備機構(以下、中小機構)より公募された「平成28年度海外ビジネス戦略推進支援事業」への県内企業の申請サポートを行い、2案件が採択されました。

外部専門家 × ちば興銀

当行は、平成26年以降、毎年「認定支援機関向け海外展開支援研修実践編／事業計画策定支援・財務管理編」(主催:中小機構)に専門員を派遣し、海外での事業展開実現に向けたサポートを行っております。

当行は
専門性の高い
支援を行うことのできる
経営革新等支援機関
に認定されて
います

関東
地銀初!

日本エマージェンシーアシスタンスと業務提携契約を締結【平成28年9月】

日本の会社で唯一、海外医療アシスタンスサービスをワンストップで行っている、日本エマージェンシーアシスタンス株式会社(以下、EAJ)と業務提携いたしました。

同社は、世界に展開している多くのグローバル企業や官公庁などとも取引実績があり、本提携により当行は、海外進出企業に対しEAJを通して、海外医療アシスタンスサービスなど、これまで以上に手厚いサービス提供が可能となりました。

医療・介護分野への支援

「診療報酬改定セミナー」を開催【平成28年4月】

当行が提携している医療経営コンサルティングを営む株式会社ネクサスと協力し、「診療報酬改定セミナー」を当行佐原支店にて開催いたしました。

平日のセミナーへのご参加が難しい医療機関経営者の皆さまに参加いただけるよう、日曜日の開催とし、平成28年4月に行われた診療報酬改定の方向性と改定後の成長戦略について講演いただきました。

より便利に、安心してご利用いただくために

ちば興銀では「電話de詐欺」の被害が深刻化する中、千葉県・千葉県警察と連携し、被害の未然防止対策を推進し、お客さまの大切な預金をお守りするため、さまざまな取り組みを行っております。

振り込め詐欺防止等撲滅強化推進期間【平成28年10月】

全国銀行協会が定める「振り込め詐欺防止等撲滅強化推進期間」にあわせ、ミニチラシを千葉県内全店の窓口やATM等で配布し、注意を呼びかけました。



「STOP! 電話de詐欺」キャンペーン実施【平成28年6月】

千葉県・千葉県警察と連携して「STOP! 電話de詐欺」キャンペーンを実施しました。また、当行を年金受け取り口座にご指定いただいているお客さまが当行ATMを操作した際に注意喚起画面が一定期間表示されるようになっております。



「ちば興銀コスモスWEBサービス」のセキュリティ強化【平成28年8月】

法人向けインターネットバンキングサービスのセキュリティ対策のひとつである「ワンタイムパスワード」について、ハードウェアトークンの取扱いを開始いたしました。

「ワンタイムパスワード」

一度だけ有効な使い捨てのパスワードで、60秒ごとに変更されるため、不正に取得したID・パスワードによるなりすましの操作を防ぎ、インターネットバンキングをより安全にご利用いただけます。

ワンタイムパスワードをご利用になる場合には、ソフトウェアトークンまたはハードウェアトークンのどちらかをお選びいただき、お申込みが必要です。

ソフトウェアトークン	ハードウェアトークン
スマートフォン・携帯電話に専用アプリをダウンロードして、ワンタイムパスワードを表示させる仕組みです。 1台のスマートフォンで、複数のユーザ様にご利用いただけます。 1台の携帯電話では1名のユーザ様のご利用となります。	キーホルダー型のワンタイムパスワード生成機で、液晶画面にワンタイムパスワードが表示されます。 1つのハードウェアトークンで、複数のユーザ様にご利用いただけます。

さらに快適で機能的な店舗へ

さらにご利用いただきやすく、快適で機能的な店舗をめざし、店舗の新築移転、リニューアル等をすすめております。

松戸支店・リニューアル【平成28年11月】

平成28年11月21日(月)、新店舗での営業を開始いたしました。

店舗内ATM全台に指静脈認証機能と、目の不自由なお客さまに配慮したハンドセットを備えております。

365日・夜9時まで利用可能な「全自動貸金庫」300箱を設置し、セミナールームも用意いたしました。

また従来よりも駐車可能台数を増やし、さらにお立ち寄りいただきやすくしました。



(イメージ)

四街道支店・新築移転【平成28年8月】

平成28年8月、イトーヨーカドー四街道店(四街道市中央5番地)敷地内に、新築移転いたしました。

イトーヨーカドー四街道店と駐車場も共同利用となり、お買い物とあわせてご利用いただけます。

さらに、夜9時まで利用可能な「全自動貸金庫(365日稼働)」や、様々な金融情報を発信する「セミナールーム」も設けております。



梅郷支店・リニューアル【平成29年2月予定】

来年2月オープンをめざして現在工事中です。

仮店舗にて営業中はお客さまに何かとご不便をおかけいたしますが、ご理解を賜りますよう、よろしくお願い申し上げます。



(仮店舗で営業中)

商品・サービスのご案内

ちば興銀は、お客さまの生涯にわたるパートナーとして、お客さまのニーズにお応えし、ご満足いただける商品・サービスの提供に努めております。

～平成28年6月 ちば興銀の〈ガン保障付住宅ローン〉がさらにパワーアップ！～ ガン保障付住宅ローン

「ガン先進医療保障」「上皮内ガン・皮膚ガン保障」の2つの保障を追加！
保険料はこれまでと同様にお客さまのご負担はありません！

- 生まれてはじめてガンと診断されたら、住宅ローン残高が0円になります。
- 奥さまが女性特有のガン(乳ガン・子宮ガン・卵巣ガンなど)と診断されたら、ガン一時金として100万円をお支払いします。
- さらに、ガンを原因とする先進医療の自己負担金を最大1,000万円保障、また上皮内ガン、皮膚ガン保障として30万円、いずれも保険料は無料です。



全国初! ～ガンのリスクに夫婦で備える住宅ローン～ 連生ガン保障付住宅ローン〈パートネイド〉

ご夫婦で一緒に借りるガン保障付住宅ローン
ご夫婦のどちらかに万一のことがあった時はもちろん、
ガンと診断された場合にも、住宅ローンが0円になります。

- 生まれてはじめてガンと診断されたら、住宅ローン残高が0円になります。
- ご主人さま、奥さまのどちらが罹患しても、保険が適用されます。
- ガンが完治しても一度0円になった住宅ローンは0円のままです。
- リビングニーズ保障にも対応。ガン以外でも余命6か月と診断された場合、保険が適用されます。



「Yahoo!ウォレット」の「預金払い」「Yahoo!マネー」の対応開始!【平成28年10月】

ヤフー株式会社が「Yahoo!ウォレット」の新機能として提供を開始した「預金払い」および電子マネー「Yahoo!マネー」へのチャージについて、ちば興銀の預金口座から引き落としができる機能の提供を開始いたしました。

- 預金払い**
当行の口座を「Yahoo!ウォレット」にネット口振受付サービスで事前登録いただくことで「ヤフオク!」「Yahoo!ショッピング」[LOHACO(ロハコ)]でのお買い物の支払いの際に、当行の口座から即時に代金を引き落とすことができる決済手段です。
- Yahoo!マネー**
ヤフー株式会社が提供している電子マネーであり、「ヤフオク!」「Yahoo!ショッピング」[LOHACO(ロハコ)]でのお買い物に利用できます。
「預金払い」で登録した当行の口座からチャージすることが可能です。

※当行に普通預金口座のキャッシュカードをお持ちの個人のお客さまで、ネット口振受付サービスで2営業日前までに登録いただく必要があります。

～ちば興銀はシーズンオフも千葉ロッテマリーンズを応援します!～ マリーンズ開幕ダッシュ応援定期預金2017【お取扱期間:平成28年12月1日～平成29年3月31日】

本定期預金を作成のお客さま先着10,000名さまにマリーンズ×ちば興銀オリジナルエコバッグをプレゼント!
さらに抽せんで千葉ロッテマリーンズ「フィールドウィング・シート」または「ホーム外野応援席」のペアチケットを各26組52名さまにプレゼント!

TEAM26会員さま特典
本定期預金を作成のTEAM26(※1)会員さまの中から抽せんで1,000名さまにマリーンズ×ちば興銀オリジナルステンレスボトルをプレゼント!

(※1)TEAM26…千葉ロッテマリーンズ公式ファンクラブ

インターネットバンキングでお預入れの場合、適用金利0.026%! (税引後0.0207181%)

※インターネットバンキングでお預入れの場合は「プレゼント」および「TEAM26会員さま特典」の対象外とさせていただきます。



フィデューシャリー・デューティー(※2)に関する取組み【平成28年10月】

当行は、お客さまの利益に真にかなう商品・サービスを提供し、お客さまから最も信頼される銀行であり続けるべく、平成28年10月、資産運用関連業務に関する「フィデューシャリー・デューティーに関する取組方針」を策定・公表いたしました。

これに伴い、同じく10月には外貨建て保険や市場価格調整機能付き保険など、市況に応じて価格変動リスクを抱える保険商品を対象に、生命保険を販売した際に保険会社から受け取る手数料を、お客さまに開示しております。

これからも当行は、お客さまの立場に立った施策を実践してまいります。

(※2)フィデューシャリー・デューティー…他者の信任に応えるべく一定の任務を遂行する者が負うべき幅広い様々な役割・責任の総称

ちば興銀で開催! 支店長講師による「資産運用セミナー」

普段なかなかお会いすることのない地域のお客さまと接点を持ちたい…そんな想いからはじめた支店長による「資産運用セミナー」ですが、好評につき第2回目を実施いたしました。

ちば興銀の支店長が自ら講師となり、最新の国内外の経済動向やマーケット環境についてご説明をいたしました。
ちば興銀はこれからも地域密着型金融を積極的に推進し、地域の皆さまに役立つ情報を発信し続けてまいります。



※こちらのミニ・ディスクロージャー誌に掲載している商品の概要・詳細については、店頭のパフレット「商品概要説明書」または、当行ホームページ(<http://www.chibakogyo-bank.co.jp/>)をご覧ください。

CSRの取組み 地域社会・地域経済への貢献

ちば興銀マッチデー「CKB SUMMER FESTIVAL'16」



CKB SUMMER FESTIVAL'16

毎年行っているちば興銀マッチデーとして、「CKB SUMMER FESTIVAL'16」を開催いたしました。

今年は「音楽」をテーマに、先着2万名さまにギター柄オリジナルうちわを配布いたしました。

ちば興銀ブースでは、選手のサインボールなどが当たるさまざまなイベントを開催し、大変な盛況となりました。



ちば興銀は、地域とともに歩む銀行として、これからもさまざまな活動を通して地域社会・地域経済へ貢献してまいります。

「ちばアクアラインマラソン2016」に協賛



「ちばアクアラインマラソン2016」にオフィシャルスポンサーとして協賛いたしました。

県内はもとより全国から参加したランナーの皆さまをおもてなしするため、当行員、スタッフ106名がボランティアスタッフとして参加、大会運営をサポートいたしました。



金融教育活動

地域経済の将来を担う児童や学生達の金融教育に携わり、普及活動に取り組んでまいります。



夏休み体験隊「サマーキッズスクール2016」

県内の小学5、6年生を対象にQVCマリンフィールドで10回目となる金融教育・しごと体験イベントを実施



文化・スポーツ活動

地域の文化活動やスポーツ振興のため、長年にわたり、さまざまなイベントを協賛・開催しております。



千葉興業銀行杯 親善ゲートボール大会

千葉県ゲートボール連盟との共催により、26年連続で開催
平成28年は、10月2日に青葉の森陸上競技場で実施



環境への取組み

環境の保全と美化に努め、千葉県の豊かな自然環境を未来に引継いでいくための活動を行っております。



ちば興銀の森

匝瑳市新堀海岸県有林の再生をめざして、5年間で5,000本の植栽や草刈による海岸保有林再生活動を展開



社会奉仕活動

未来を担う子どもたちの安全と健全な育成を願い、寄付・募金活動などにも積極的に取り組んでおります。



「小さな親切」運動の推進

全国的組織「小さな親切」運動の千葉県本部として活動
熊本地震における被災者支援のための募金活動を実施

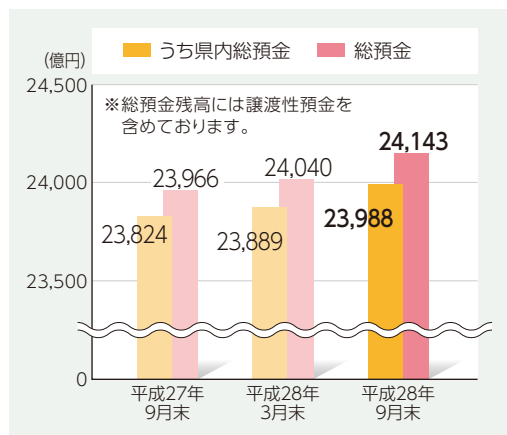


平成28年9月期の業績につきましては、預金・貸出金ともに順調に増加しました。特に貸出金残高につきましては、当行が持つコンサルティング機能を発揮し、地域のお客さまの資金ニーズに積極的にお応えしてまいりました結果、中小企業向け、個人向け貸出ともに増加しております。

(注)当行は主要な営業地域を千葉県内としておりますので、千葉県内の営業店舗の合計計数を「県内」計数として表示しております。

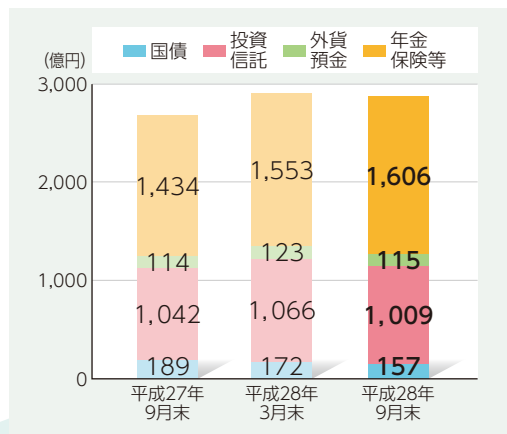
総預金残高

総預金残高は、個人預金の増加などから前年同期比176億円増加し、2兆4,143億円となりました。



預り資産

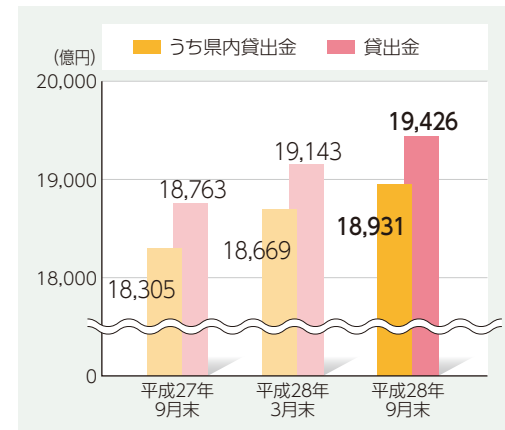
マーケット環境が不安定であったことから資産運用商品は、一般的に伸び悩みましたが、年金保険等は前年同期比171億円増加の1,606億円となりました。



グラフ等に記載の計数および解説文中の計数は単位未満切捨て表示となっております。

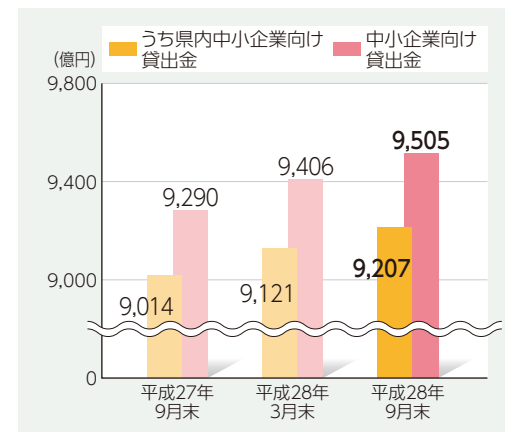
貸出金残高

貸出金残高は、前年同期比662億円と大幅に増加し、1兆9,426億円となりました。そのほとんどを県内の企業や個人のお客さまへの貸出しに向けております。



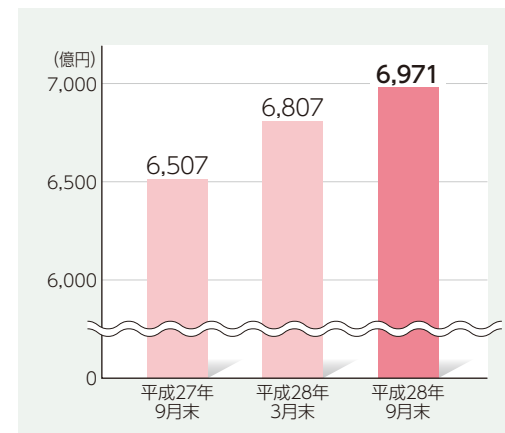
中小企業向け貸出金残高

中小企業向け貸出金残高は、前年同期比215億円増加し、9,505億円となりました。



住宅ローン残高

住宅ローン残高は、住宅販売会社との連携強化等により、前年同期比464億円増加し、6,971億円となりました。



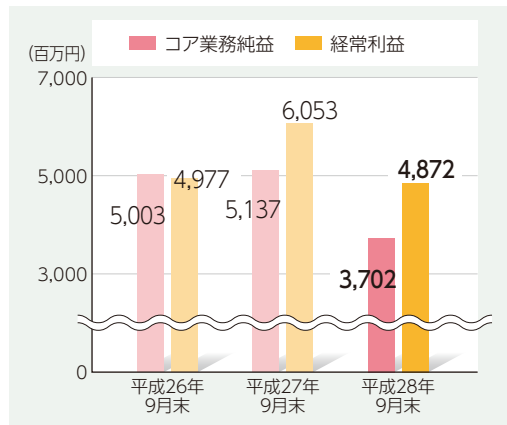
コア業務純益・経常利益

貸出金残高は順調に増加したものの、利回りが低下したため、資金利益は減少しました。

これにより、コア業務純益は、前年同期比14億34百万円減少し、37億2百万円となりました。

また、経常利益は、前年同期比11億81百万円減少し、48億72百万円となりました。

コア業務純益
 $\text{コア業務純益} = \text{一般貸倒引当金繰入前の業務純益} - \text{国債等債券関係損益}$

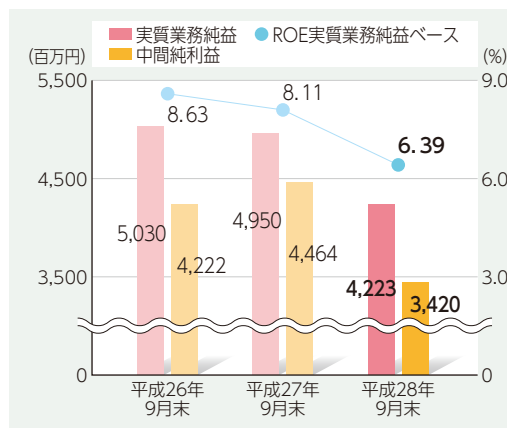


実質業務純益・中間純利益・ROE (株主資本利益率)

実質業務純益(一般貸倒引当金繰入前の業務純益)は、前年同期比7億27百万円減少し、42億23百万円となりました。

中間純利益は、前年同期比10億43百万円減少の34億20百万円となりました。

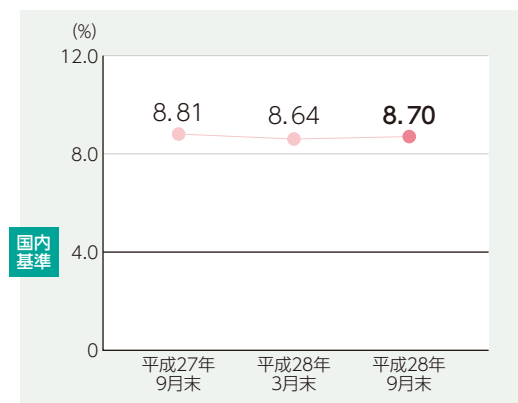
その結果、ROE(株主資本利益率)は、実質業務純益ベースで前年同期比1.72ポイントの減少となりました。



ROE(実質業務純益ベース) ROE(株主資本利益率) = $\frac{\text{実質業務純益}}{\text{純資産の部合計平残}} \times 100$
 値が大きいほど株式資本の「収益性」が高いことを示しています。

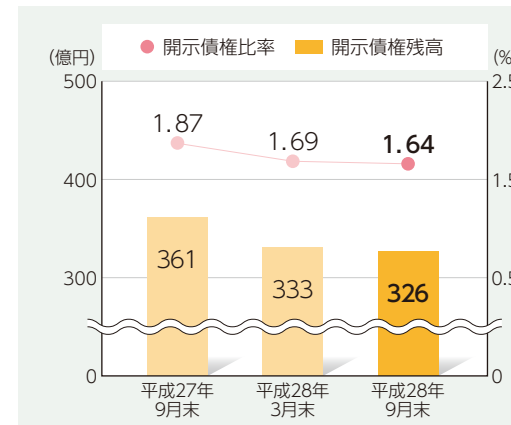
自己資本比率(バーゼルⅢ)

自己資本比率は、平成28年3月末比0.06ポイント上昇し、8.70%となりました。



開示債権比率(金融再生法基準)

お取引先企業と強固なリレーションを構築し、課題解決への支援に取り組んだ結果、金融再生法基準の開示債権比率は、平成28年3月末比0.05ポイント減少の1.64%、正常債権を除いた「開示債権」の平成28年9月末残高は、平成28年3月末比6億円減少の326億円となりました。



事業性評価への取組み

地域密着型金融の推進による地域経済や地元の産業・企業の発展への貢献に向け、財務データや担保・保証に必要以上に依存することなく、お取引先企業の事業内容や成長可能性等を適切に把握した上で(事業性評価)、これまで以上に、企業の各種ニーズや経営課題に対する各種ソリューションを提供してまいります。

事業性評価にあたっては、お取引先企業の財務状況などの定量的な分析に加え、企業のビジネスモデル、商流、組織力、技術力といった定性的な分析を行い、経営課題やニーズの把握を行ってまいります。

経営者保証に関するガイドラインへの対応

経営者保証に関するガイドラインの趣旨や内容を十分に踏まえ、経営者保証に依存しない融資の促進と、既存の保証契約の見直しに取り組んでおります。

	平成27年度実績	平成28年度上期実績
新規で無保証で融資した件数	1,378	737
保証契約を変更した件数	11	1
保証契約を解除した件数	3	4

第95期中(平成28年9月30日現在)中間貸借対照表 (単位:百万円)

科目	金額	科目	金額
(資産の部)		(負債の部)	
現金預け金	114,957	預金	2,384,968
買入金銭債権	150	譲渡性預金	29,400
商品有価証券	37	借入金	8,741
有価証券	500,561	外国為替	235
貸出金	1,942,670	その他負債	15,351
外国為替	1,617	未払法人税等	288
その他資産	5,996	リース債務	1,227
その他の資産	5,996	その他の負債	13,835
有形固定資産	19,759	退職給付引当金	5,900
無形固定資産	2,084	睡眠預金払戻引当金	933
繰延税金資産	6,918	支払承諾	12,772
支払承諾見返	12,772	負債の部合計	2,458,301
貸倒引当金	△9,027	(純資産の部)	
		資本金	62,120
		資本剰余金	6,971
		資本準備金	6,971
		利益剰余金	62,201
		利益準備金	4,916
		その他利益剰余金	57,284
		繰越利益剰余金	57,284
		自己株式	△60
		株主資本合計	131,232
		その他有価証券評価差額金	8,928
		評価・換算差額等合計	8,928
		新株予約権	36
		純資産の部合計	140,197
資産の部合計	2,598,499	負債及び純資産の部合計	2,598,499

第95期中(平成28年4月1日から平成28年9月30日まで)中間損益計算書 (単位:百万円)

科目	金額
経常収益	21,606
資金運用収益	14,761
(うち貸出金利息)	(11,743)
(うち有価証券利息配当金)	(2,752)
役員取引等収益	4,004
その他業務収益	1,596
その他経常収益	1,244
経常費用	16,734
資金調達費用	486
(うち預金利息)	(412)
役員取引等費用	2,210
その他業務費用	716
営業経費	13,049
その他経常費用	271
経常利益	4,872
特別利益	2
特別損失	176
税引前中間純利益	4,697
法人税、住民税及び事業税	113
法人税等調整額	1,164
法人税等合計	1,277
中間純利益	3,420

第95期中(平成28年9月30日現在)中間連結貸借対照表 (単位:百万円)

科目	金額	科目	金額
(資産の部)		(負債の部)	
現金預け金	114,967	預金	2,370,894
買入金銭債権	150	譲渡性預金	29,400
商品有価証券	37	借入金	24,204
有価証券	500,467	外国為替	235
貸出金	1,938,312	その他負債	22,193
外国為替	1,617	退職給付に係る負債	10,201
その他資産	27,671	役員退職慰労引当金	40
有形固定資産	19,785	睡眠預金払戻引当金	933
無形固定資産	2,563	支払承諾	12,773
繰延税金資産	8,299	負債の部合計	2,470,876
支払承諾見返	12,773	(純資産の部)	
貸倒引当金	△11,760	資本金	62,120
		資本剰余金	6,971
		利益剰余金	66,070
		自己株式	△60
		株主資本合計	135,102
		その他有価証券評価差額金	8,952
		退職給付に係る調整累計額	△2,872
		その他の包括利益累計額合計	6,080
		新株予約権	36
		非支配株主持分	2,790
		純資産の部合計	144,009
資産の部合計	2,614,886	負債及び純資産の部合計	2,614,886

第95期中(平成28年4月1日から平成28年9月30日まで)中間連結損益計算書 (単位:百万円)

科目	金額
経常収益	25,575
資金運用収益	14,391
(うち貸出金利息)	(11,767)
(うち有価証券利息配当金)	(2,357)
役員取引等収益	4,458
その他業務収益	1,596
その他経常収益	5,130
経常費用	20,421
資金調達費用	560
(うち預金利息)	(411)
役員取引等費用	1,772
その他業務費用	716
営業経費	13,054
その他経常費用	4,317
経常利益	5,154
特別利益	2
特別損失	189
税金等調整前中間純利益	4,967
法人税、住民税及び事業税	323
法人税等調整額	1,173
法人税等合計	1,497
中間純利益	3,469
非支配株主に帰属する中間純利益	113
親会社株主に帰属する中間純利益	3,356

第95期中(平成28年4月1日から平成28年9月30日まで)中間株主資本等変動計算書 (単位:百万円)

	株主資本							新株予約権	純資産合計				
	資本金	資本準備金	その他利益剰余金	資本剰余金合計	利益剰余金	その他利益剰余金	利益剰余金合計						
当期首残高	62,120	6,971	-	6,971	4,493	56,403	60,897	△67	129,922	13,255	13,255	31	143,209
当中間期変動額					422	△2,537	△2,114		△2,114				△2,114
剰余金の配当													
中間純利益						3,420	3,420		3,420				3,420
自己株式の取得								△0	△0				△0
自己株式の処分			△2	△2				7	4				4
利益剰余金から資本剰余金への振替			2	2		△2	△2		-				-
株主資本以外の項目の当中間期変動額(純額)									△4,326	△4,326		5	△4,321
当中間期変動額合計					422	880	1,303	6	1,310	△4,326	△4,326	5	△3,011
当中間期末残高	62,120	6,971	-	6,971	4,916	57,284	62,201	△60	131,232	8,928	8,928	36	140,197

第95期中(平成28年4月1日から平成28年9月30日まで)中間連結株主資本等変動計算書 (単位:百万円)

	株主資本				その他の包括利益累計額				新株予約権	非支配株主持分	純資産合計
	資本金	資本剰余金	利益剰余金	自己株式	株主資本合計	その他有価証券評価差額金	退職給付に係る調整累計額	その他の包括利益累計額			
当期首残高	62,120	6,971	64,831	△67	133,856	13,278	△3,090	10,188	31	2,661	146,737
当中間期変動額											
剰余金の配当						△2,114		△2,114			△2,114
親会社株主に帰属する中間純利益			3,356		3,356						3,356
自己株式の取得				△0	△0						△0
自己株式の処分			△2	7	4						4
利益剰余金から資本剰余金への振替			2	△2	-						-
株主資本以外の項目の当中間期変動額(純額)						△4,325	217	△4,107	5	128	△3,973
当中間期変動額合計			1,238	6	1,245	△4,325	217	△4,107	5	128	△2,727
当中間期末残高	62,120	6,971	66,070	△60	135,102	8,952	△2,872	6,080	36	2,790	144,009

(注)記載金額は百万円未満を切り捨てて表示しております。

格付け

当行は、中立的な第三者による評価を取得し公表することで、投資家の皆さまやお取引先の皆さまに財務内容の健全性や収益性などについてご理解いただくため、平成18年10月に株式会社日本格付研究所(JCR)から長期発行体格付^(※1)を取得し公表しております。



格付け **「A-(シングルAマイナス)」**
【据え置き】

格付け見通し **「安定的」**
【据え置き】

(格付けの公表:平成28年8月31日)

(※1)長期発行体格付:債務者(発行体)の債務全体を包括的に捉え、その債務履行能力を評価したものです。

利益分配に関する基本方針

当行は、銀行業としての公共性に鑑み、健全経営を確保するため内部留保の充実を図るとともに、安定的な配当に努めていくことを基本方針としております。

普通株式の配当 当期の普通株式の配当につきましては、5月に公表のとおり、本年度末に1株当たり3円の配当をいたしたいと存じます。

優先株式の配当 当期の優先株式の配当につきましては、5月に公表のとおり、本年度末に所定の配当をいたしたいと存じます。

株主優待制度の拡充

日頃のご支援に感謝の意をこめて、ご優待制度の拡充に努めております。

平成28年3月31日現在で、千葉興業銀行の株式を100株以上所有されている個人・法人の株主さまを対象に「株主優待定期預金」の制度を引続きお取扱しております(平成28年7月1日～平成29年3月31日)。

「さわやかハロー24」^(※2)ともども、ご利用いただきますようお願い申し上げます。

(※2)「さわやかハロー24」:当行の株主さまに無料で、健康や医療に関するご相談をベテランの医師などが電話でお受けするサービスです。健康・医療相談のほか、夜間・休日診療の医療機関ご案内、医療機関情報のご提供、介護などシルバー情報のご提供についてご利用いただけます。

役員 (平成28年11月30日現在)

取締役 頭取・CEO	青柳 俊一	常勤監査役	稲葉 保実
取締役 副頭取・COO	梅村 星児	常勤監査役	松井 一登
専務取締役・専務執行役員	星野 智史	監査役	鈴木 伸弥
常務取締役・常務執行役員	立野 嘉明	監査役	五日市 喬弘
取締役	戸谷 久子		
取締役	萩野 善教		

(注)取締役戸谷久子氏、取締役萩野善教氏、監査役鈴木伸弥氏および監査役五日市喬弘氏は、東京証券取引所有価証券上場規程第436条の2にいう独立役員であります。

株式の状況 (平成28年9月30日現在)

1 株式数

株式の種類	発行可能株式総数	発行済株式の総数
普通株式	296,000千株	62,222千株
第二回第二種優先株式	5,000千株	5,000千株
第四回第四種優先株式	7,500千株	6,400千株

(注)株式数は、千株未満を切り捨てて表示しております。

3 大株主

株式の種類	株主の氏名又は名称	当行への出資状況	
		持株数等 (千株)	持株比率 (%)
普通株式	株式会社みずほ銀行	9,583	15.41
	日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社(信託口)	2,411	3.87
	日本マスタートラスト信託銀行株式会社(信託口)	2,332	3.75
	CHASE MANHATTAN BANK GTS CLIENTS ACCOUNT ESCROW	1,653	2.66
	坂本飼料株式会社	1,249	2.01
	明治安田生命保険相互会社	1,158	1.86
	みずほ信託銀行株式会社	926	1.49
	千葉興業銀行行員持株会	901	1.44
	CBNY DFA INTL SMALL CAP VALUE PORTFOLIO	854	1.37
	損害保険ジャパン日本興亜株式会社	795	1.27
第二回第二種優先株式	株式会社みずほ銀行	5,000	100.00

2 株主数

普通株式	12,383名
第二回第二種優先株式	1名
第四回第四種優先株式	165名

株式の種類	株主の氏名又は名称	当行への出資状況	
		持株数等 (千株)	持株比率 (%)
第四回第四種優先株式	沖電気工業株式会社	300	4.68
	大成建設株式会社	300	4.68
	東京建物株式会社	300	4.68
	丸紅株式会社	300	4.68
	キッコーマン株式会社	200	3.12
	明治安田生命保険相互会社	200	3.12
	安田不動産株式会社	200	3.12
	株式会社ヤクルト本社	180	2.81
	株式会社クレス	160	2.50
	芙蓉総合リース株式会社	160	2.50

(注)1.持株数は千株未満を切り捨てて表示しております。
2.持株比率は小数点第3位以下を切り捨てて表示しております。
3.普通株式の持株比率は自己株式(54,172株)を控除して、算出しております。

株式のご案内

- 事業年度 毎年4月1日から翌年3月31日まで
- 配当受領株主確定日 期末配当:毎年3月31日
中間配当:毎年9月30日
- 定時株主総会 毎事業年度終了後3ヵ月以内に開催
- 基準日 定時株主総会については、毎年3月31日
その他必要あるときはあらかじめ公告する一定の日
- 単元株式数 100株
- 公告方法 電子公告
(当行ホームページ
<http://www.chibakogyo-bank.co.jp/>)
ただし、事故その他やむを得ない事由によって電子公告による公告をすることができない場合は、日本経済新聞に掲載いたします。

- 単元未満株式の買取請求について
単元未満株式をご所有の場合、その単元未満株式を当社が買い取らせていただく制度(買取制度)がございますので、どうぞご利用ください。
特別口座に記録された株式の買取請求については、下記株主名簿管理人(特別口座管理機関)において受付けております。また、証券会社等の口座に記録された株式の買取請求については、お取引の証券会社等にお問い合わせください。
- 特別口座株式のご売却について
特別口座にて管理されている単元株式を売却されるには、事前に証券会社等の口座を開設し、その後振替手続を行っていただく必要があります。お手続き等の詳細は下記株主名簿管理人(特別口座管理機関)にお問い合わせください。

株主名簿管理人(特別口座管理機関) **みずほ信託銀行株式会社**

■ お問い合わせ先(郵便物送付先)

〒168-8507 東京都杉並区泉東二丁目8番4号
みずほ信託銀行株式会社 証券代行部
電話 0120-288-324
ご利用時間 9:00~17:00 土・日・祝日を除く

- 株式事務取扱場所
株主名簿管理人 東京都中央区八重洲一丁目2番1号
みずほ信託銀行株式会社
同事務取扱場所 東京都中央区八重洲一丁目2番1号
みずほ信託銀行株式会社
本店 証券代行部

株主様のご住所・お名前等を使用する文字に関してのご案内

株券電子化実施に伴い、株主様のご住所・お名前等の文字に、株式会社証券保管振替機構(ほふり)が振替制度で指定していない漢字等(いわゆる「外字」)が含まれている場合は、その全部または一部をほふりが指定した文字またはカタカナに変換して、株主名簿に記録いたしております。
このため、株主様にご送付する通知物の宛先が、ほふりが指定した文字に置き換えられる場合がありますのでご了承ください。
株主様のご住所・お名前等として記録されている文字については、お取引の証券会社等にお問い合わせください。

企業理念

地域とともに

私たちは、地域とともに歩む銀行として、人々の幸せを求めて、豊かなふるさとづくりに努めます。

お客さまのために

私たちは、積極的にお客さまのニーズに応え、創造性を発揮し、より質の高いサービスの提供に努めます。

「親切」の心で

私たちは、心のふれあいを大切にし、自己を磨き、親切ナンバーワンをめざします。

うれしい情報を
LINEでお届け!

LINE@ 配信中!

ちば興銀 公式アカウント

@chibakogin でID検索!



千葉興業銀行

〒261-0001

千葉市美浜区幸町二丁目1番2号

TEL.043-243-2111

<http://www.chibakogyo-bank.co.jp/>

